

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Barrier Free 大町	事業所番号	0510101959
住 所	秋田市大町3丁目5-8 ウイング・グラン2A	管理者名	加藤 輝士
電話番号	018-838-7082	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>株式会社ツバサ 毎週月～金(祝日除く) 倉庫管理業務、倉庫管理に伴う付帯業務 利用者数 2～3名</p>	<p><活動の様子></p> <p>詰め作業</p>  <p>外紙巻き作業</p> 
<p><目的></p> <p>障害の理解や仕事の確保及び利用者賃金向上 作業人材の確保 作業のスキルやコミュニケーション力の向上</p>	<p>検品・箱詰め作業</p> 
<p><成果></p> <p>作業を通して連携先の方の障がいに対する理解を深めることが出来た。 今後も作業の正確性向上とスピードアップを目指していく。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

■連携した結果に対する意見または評価

- ・セットアップ作業について:きりたんぼカップスープ、カップもち、ハチわっぱ、Tシャツの JAN シール貼付や POP のラミネートなどスムーズに行えます。
- ・ヤマト B2 伝票の作成について:配送先や小口数などの対応についてミスなく迅速に行えます。
- ・賞味期限の絶対順守(最重要):セットアップや発送において、賞味期限の確認ミスは致命的なクレームに直結します。「ダブルカウント」と「シール貼り付け確認」を徹底し、品質管理(賞味期限)の意識を最優先にしてください。
- ・検品の強化:商品への異物混入や、シール片が段ボールへ混入することのないよう、確認の徹底をお願いします。
- ・挨拶と連携の強化:相手に届く声量での挨拶と、判断に迷った際の自発的な報連相を徹底してください。
- ・安定性:体調の波が作業精度(カウントミス等)に直結しないよう、自己管理と不調時の報告を継続してください。

■今後の連携強化に向けた課題

- 業務切り替えへの柔軟性:1月からの業務拡大(発送・棚卸の追加)により、作業途中でも優先順位を変える場面が増えています。指示変更には戸惑わず、スムーズに頭を切り替える柔軟性が課題です。
- ・「効率」と「品質」の両立:これまでは正確な作業が中心でしたが、今後は「作業効率(スピード・ロスタイム削減)」と「品質(賞味期限の確実な管理)」の両立が課題となります。
- ・「判断を伴うマルチタスク」に対応できるチーム体制の構築をお願いします。

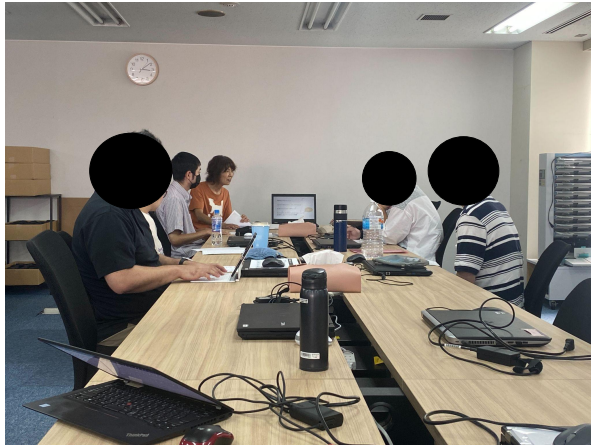
連携先企業名	株式会社 ツバサ	担当者名	市川
--------	----------	------	----

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Barrier Free 大町
住所	秋田市大町3丁目5-8 ウイング・グラン2A
電話番号	018-838-7082

事業所番号	0510101959
管理者名	加藤 輝士
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>BarrierFree大町の事業所内にて実施</p> <p>日時: 令和7年8月12日(火)15:00~15:30</p> <p>参加者: 6名</p> <p>研修内容: 自己理解~強み・弱みの考え方~</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <ol style="list-style-type: none">自己理解を深め、就活活動に活かせるようにする早めの段階で自己理解を深めておくことで、応募の際に慌てないようにする	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・具体的に応募先が決まっていなくても、早めの準備の大切さを理解してもらえた。・ワークに真剣に取り組み、感想の発表からも各々の就職に対する意識の高さを感じた。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

事業所の職業指導員による事業所内での研修実施のため、今回は他社連携なし。

連携先企業(担当者)

—

利用者からの意見・評価

- ・チェック方式の個人ワークは初めてやった、新鮮だった。
- ・自分の強み(弱み)と、他者の弱み(強み)を掛け合わせてチームワークを意識して働くイメージが持てた。
- ・自己PRする文章をうまく書けたり、話したりできるようになりたい。
- ・弱みを認識することで欠点を直していきたいと感じた。
- ・強み・弱みについて視点を変えることで、面接での受け答えに幅を持たせられると思った。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	Barrier Free 大町
住所	秋田市大町3丁目5-8 ウィング・グラン2A
電話番号	018-838-7082

事業所番号	0510101959
管理者名	加藤 輝士
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		50 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		6 点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	140 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	13830:30:00	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,294	人	利用者の1日の平均労働時間数	4:11:55	時間
-----------------------------	-------------	----	-------------------	-------	---	----------------	---------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（ 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	0	円
-----------------	---	--------------	---	----	---	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	5,768,178	円	利用者に支払った賃金総額	5,499,184	円	収支	268,994	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	---------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,384,449	円	利用者に支払った賃金総額	13,212,799	円	収支	171,650	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

.....

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

.....

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研

◎研修計画を策定している
 ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している
 ※研修名 日本財団フォーラムNIPPON 2025
 研修講師 日本財団
 実施日・受講者数 令和7年12月20日、21日 1名

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
 ※障害福祉サービス概要とBarrier Free大町の取り組み
 実施日 令和7年11月11日

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎視察・実習の受け入れを実施している
 ※株式会社SANCYO
 実施日/参加者数 令和7年8月30日 1名

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
 ※秋田南ロータリークラブ(ゲストスピーカー)
 主催者名 秋田南ロータリークラブ
 日時 令和7年4月3日
 内容 参加者との情報交換、営業活動

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している
 ◎当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 令和6年4月1日
 人事評価制度の対象職員数 4名
 うち昇給・昇格を行った者 4名
 当該人事評価制度の周知方法 面談

⑥ピアサポーターの配置

.....

⑦第三者評価

.....

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

.....

(Ⅵ) 経営改善計画

.....